

信濃路 日帰りツーリング 2019.5.25

できすぎた天気。一日を振り返ってみても、雲を見た記憶がない。

前日、休暇をとり、半年ぶりにテニスサークルに参加。老躯は悲鳴をあげ、^{ふしぶし}節々に疲れをためて、ツーリング当日、6時30分に家を出る。高坂SA集合はひさびさだ。時代が戻ったようでなんとなく嬉しい。

7時50分に時計の針が届く前、幹事を先頭に銘々が走りに入る。まずは道の駅、下仁田。なじみの停車場、でも、変わってる。どことなく殺風景に。景色の片隅に現れたのは、田中さん、こちらはお変わりなく、明るい笑顔、元気そう。

集合、幹事から渡されたのは分厚い「概要」書。うわっ! なにっ、これ! 研究書!? 幹事のこの日への思いが伝わり、神妙な空気が。間断なく静寂となり、幹事の優しい声が響く。まもなく出発となり、見慣れた踏切を左に折れる。そういえばサークル初参加でKさん企画の日帰り温泉、民宿での忘年会、・・・この踏切を何度越えたことだろう。過去を反芻しながらその場に別れを告げた。

道は細くなり、右手に道の駅を通り過ぎる。以前、幹事に勧められて、H氏と偕行し、しばし休憩した道の駅。対面からの来客は、「道路ばかり見ている、景色を見られなかった」と。RT、今度も大丈夫かな?

その辺りから無線発信音が耳を刺し続ける。これは辛かった。

線ヶ滝、勾配のある坂道から山道を下る。滝つぼまで行く者、途中で折り返す者。体調と気分で枝分かれ。やはり滝壺までいかなあ〜、ここからの眺めが一番、感想も枝分かれ。



田口峠、あそこが峠?、と指さし愚問。ここも峠だよ、とI氏。

新海神社、古びた神社の奥に三重の塔。えっ、神社に三重の塔って? 廃仏毀釈が吹き荒れる悪政の時代、「神社」を衣装として息をつないだようだ。塔は荘厳といえども手入れがされていない様子。残念!(ギター侍?)。神社の片隅でK氏がインパール作戦と口ずさむ。作戦起案のM愚将は戦後もさかんに自己弁護。池袋事故、加害者は事後新車の購入を検討したとか。最近話題の「高級国民」。低級国民の命は軽い?



龍岡城址、戊辰戦争で、悩んだ挙句、新政府側についた藩が建造した五稜郭。急ごしらえのためか、堀は狭く、おそらく浅く、また未完成。城跡は小学校に。ああ、こんな所で小学生だったら、人生は変わっていたかも。幼少時代を文字にすることが景色となる文士になれたかも。散策後、休憩所で茶とお新香を馳走になる。田舎のおばちゃん、とっても優しい。

長野県営牧場、富良野を彷彿とする風景。鉄馬を休め、しばし、牧歌的気分。



馬顔稲荷、幹事より京都清水寺と類似する建築物だと、か。

旧中山道、一日中山道と読んだアナウンサー、今は？

望月旧宿場町、井出野屋旅館が映画のロケに使用されたとか。映画、観てないけど、いかにもそれっぽい雰囲気。

ラフェスタ、中食、ソースカツ丼を注文。空腹の絶頂、けっこう待たされ、がつつく。豚肉の質良く、美味、美味。あっ、レポーターだっけ、写真忘れる。

大澤酒造民俗資料館、酒造りの他、書道館、絵画館。館長は相当の文化人？どこだったか、ほんとの酒好きは安酒が好きなんだよね、と聞いた酒造は。今は亡き酒好きの親父は安酒ばかり。生前、美酒を馳走できなかった後悔はそのとき消えた。



佐久平 PA、解散、あれっ、少ない、みんなどこ行ったの？



一日を終えて

今回は、自然と歴史を廻る、教養溢れるツーリングとなりました。念入りの実地踏査と研究資料の用意、幹事のご誠意が端々に感じられました。幹事様は何かと事前調査に出費がかさみ、時間を使うもの。薄謝でも会として気持ちを表現できないものか、思っています。

文責 Nr.68 佐藤幸三(こうやん)